

## Genes and alcohol tolerance

### アルコールと遺伝子との関係

アルコール（エタノール）が消化器に入ると、肝臓のアルコール脱水素酵素が働いて、アセトアルデヒドになる。アセトアルデヒドはさらに、幾つかの酵素によって、グルタチオンになる。そして最後に非毒性のアセテートになる。多くのアルコールはそのまま、分解されずに体内にはいる。飲む量が多いと、体内にアセトアルデヒドが溜まって、二日酔いになる。アセトアルデヒドを分解する酵素を作る遺伝子があるかどうかを調べるのが、このアルコール感受性遺伝子分析キットである。

## How do genes affect obesity?

### 遺伝子は肥満にどのように作用しているか？

科学は遺伝学が肥満に大きな役割をしていることを示している。遺伝子が直接肥満に、Bardet-Biedl syndrome, Prader-Willi syndrome（バーデットービーデル症候群, プレイダーウィリー症候群）のような混乱を起こす。しかしながら、遺伝子は必ずしもその人の将来の健康を予測しているわけではない。肥満にはその人の遺伝子と行動の両方がかかわっている。ある症例では、幾つもの遺伝子が肥満になりやすい原因を助長している。同時に、遺伝子以外の外部からの要因、例えば、豊富な食糧の供給、運動不足等の要因必要である。